



社団法人 日本コントラクトブリッジ連盟 普及事業部

● JCB Lウェブアンケートへご回答・ご協力ください！ 8月31日まで実施中です。

JCB Lウェブサイトをご覧になれる環境の皆様、ぜひ「アンケート」にご回答ください。

会員・会友の皆様のご窓として、またブリッジをご存知ない方、関心のある方への普及・PR窓口として、たくさんの方にご満足いただけるウェブサイトにするために、できるだけ多くの回答を必要としています。周りの方、生徒さん、ブリッジをご存知ない方にもぜひアンケートへの回答をお願いしていただければ幸いです。もれなくプレゼントを進呈します（希望者のみですが）。8月31日まで実施しています。

JCB LウェブサイトURL：<http://www.jcbl.or.jp>

● 首都圏の新人さんにお勧めください！ 9/19「秋のビギナーズ杯（△5MP）」@高田馬場BC

普及事業部主催、大会に慣れていない初心者の方に「やさしい」ことでも、また、参加者全員が「プチ賞品」をゲットすることでも好評のビギナーズ杯です。周りの△5の皆様にごぜひお勧めください。

※午前／午後それぞれ独立のセッションですので、ご都合に合わせて参加いただけます。

※ペアでもお一人でもエントリーできます。

[日時] 9月19日(日) 午前の部 10:30～13:00 / 午後の部 14:00～16:30

[会場] 高田馬場ブリッジセンター

[対象] △5MPのプレイヤー(MPは2010年7月末時点)

[参加費] JCB L会友 1,000円 一般 1,500円(1セッション)

[申込] 9月15日(水)までにJCB L事務局まで

● 先生と生徒さん、どちらも楽しめる大会です！

9/18 「第3回長崎居留地まつりブリッジ大会&第2回片口杯」@長崎市 旧香港上海銀行

△50MP対象のローカル「長崎居留地まつりブリッジ大会」とセクショナルの「片口杯」の2大会がジョイントしました！

同じ日、同じ会場で行われるので、先生と生徒さん、両方が楽しめる大会になりました。レベルに合わせてご参加ください。両大会とも県外からの参加者全員へプレゼントあり！

会場は、雰囲気最高の旧香港上海銀行(長崎市松が枝町4-27 \*重要文化財)、なんと夜は「居留地舞踏会」で社交ダンスも楽しめるそうですよ。また、もっとブリッジしたい、という方は、前日、翌日にも市内でプレイが楽しめます。申し込み締め切りは、いずれも9月16日です。

≪第3回長崎居留地まつりブリッジ大会≫ 長崎チェス&ブリッジクラブ主催

[時間] 10:30～17:00 [参加費]1,500円

[定員]24ペア

[試合形式] ペア戦(ローカル)、STF(△50/△20/△5)

《第2回片口杯》 福岡ブリッジプラザ主催

[時間] 09:30～17:00 [参加費]2,000 円

[試合形式] ペア戦(セクショナル)、ハンディキャップ付き

### ●速報！ジュニアキャンプ終了！

今年で4回目のジュニアキャンプは、例年どおり、高尾山のふもとの「高尾の森わくわくビレッジ」で7月30日～31日の1泊2日で行われ、無事終了しました。都区内や八王子、横浜、八千代台から参加した小学校2年～中学3年のジュニア18名は、新しいお友達を作りながら2日間のプログラムを大いに楽しんでいました。2日目のミニブリッジゲーム大会では6チーム総当たり1ラウンド4ボード(40分)をこなし、「1ボード10分は厳しいかな…」というスタッフの予想を裏切る見事な集中力をみせてくれました。スタッフとして参加してくださった保護者や地域の方々、ブリッジインストラクターの皆さま、本当にありがとうございました。

※詳細は会報11-12月号(10月末発行)をご覧ください。



### ●速報！関西ジュニア・ペア碁大会ブリッジ体験教室

この大会のJCBL側担当者の報告から。

“7月31日(土)、京セラドーム大阪で、第5回関西ジュニア・ペア碁大会(主催:財団法人日本ペア碁協会、主管:財団法人関西棋院、協力:JCBL、他)が開催されました。JCBLでは、第1回大会からミニブリッジの体験コーナーを設置させていただき、ブリッジの魅力を囲碁キッズたちに紹介しています。私は第1回大会から担当者として参加させていただいていますが、毎年、この機会をとっても楽しみにしています。簡単ですが、今年の大会の様子をご報告いたします。本戦の対局の合間や、敗退してしまったあとに、今年もたくさんのお子さまたちがブリッジコーナーに足を運んでくれました。毎年、多数のお子さまがブリッジコーナーにも参加してくれるので、今年はJCBLのスタッフ数も増員して臨んだのですが、それでもスタッフの数が足りない位の大盛況でした。5年目にもなると、以前にもミニブリッジを体験してくれたお子さまがたくさんいます。スタッフも毎年ほぼ同じメンバーなので、「あれ？大きくなったねえ。ブリッジ覚えてる？」といった楽しい再会もあったようです。

今年特に感じたのは、ブリッジコーナーで長時間遊んでいたお子さまが多かったことです。その中には、本戦には出場していなかったまだ5歳という子もいました。あるお父様は、「最初に本戦で負けてから、今日はずーっとここにいたんですよ」とおっしゃっていました。夕方まで真剣にプレイできる集中力はすごいと、我々スタッフも感心してしまいました。ペア碁とブリッジには、ペアでプレイするという大きな共通点があることが、みなさんに親しんでいただける理由なのかもしれません。

年に1度ではありますが、このような形で、同じマインドスポーツであるブリッジにも触れていただく機会を持つことは大変ありがたいことです。主催の財団法人日本ペア碁協会様や主管の財団法人関西棋院様に、改めて感謝いたしますとともに、このような形でマインドスポーツの団体が互いに協力しながら、これからも若い世代にマインドゲームの楽しさを少しでも伝えていければと思います。

最後になりましたが、この大会では毎年、関西の地元のブリッジプレイヤーの皆様にスタッフとしてご協力いただいています。予想外の大盛況にもかかわらず、滞りなく体験コーナーを運営できたのは、一重に皆さまのおかげと大変感謝しております。この場をお借りして、地元スタッフの皆様に厚く御礼申し上げます。”



## ●速報！世界大学ブリッジ選手権開幕！

8月3日、台湾の高雄で、ブリッジのユニバーシアード大会「世界大学ブリッジ選手権－The 5th World University Bridge Championship」が開幕しました。10カ国・地域から集結した14チームによる熱戦が4日から9日までの6日間にわたって繰り広げられます。（大会URL：<http://2010wubrc.ctusf.org.tw/info.php>）

日本は2006年大会以来、2回目の参加となります。応援、宜しくお願いします。

★日本選手団NPC：山後秀幸

★選手：後藤田俊輔、伊井康朗、貴戸祥郎、松田崇志、半田康一、會田翔

★参加チーム：中国A、中国B、台北A、台北B、フランス、ドイツA、ドイツB、英国、インドネシア、イスラエル、日本、ポーランド、USA－A、USA－B

## ●PABFがAPBFに名称変更しました。2012年の福岡大会の名称も変わります！

5月のPABF選手権ハミルトン大会での代表者会議において、これまでのPABF（パシフィックアジアブリッジ連合）の名称をAPBF（アジアパシフィックブリッジ連合）に変更することが決定しました。これまでのPABFは、日本や中国など東アジアの諸国・地域から成るゾーン6、そして太平洋諸国・地域が属するゾーン7の連合組織だったのですが、2014年のアジア大会、その先のオリンピックの正式種目に採用されるためにも、世界ブリッジ界の地理的区分けをIOCの区分けと一致させようというWBFのオリンピック運動の一環で、新しくインドやヨルダン、カタールなどの西アジア・中東諸国・地域から成るゾーン4と連合して活動していくことになったことを受けての名称変更です。これに伴い、2012年のPABFコンGRESS福岡大会は「APBFコンGRESS福岡大会」と名称が変更されたことをご報告します。

※注、「ゾーン」はWBFが区分する地域名

[APBF加盟国・地域数] 計26

◎ゾーン6(12カ国・地域)：日本、中国、台北、フィリピン、香港、韓国、インドネシア、マレーシア、マカオ、モンゴル、シンガポール、タイ

◎ゾーン7(4カ国・地域)：オーストラリア、フランス領ポリネシア、ニューカレドニア、ニュージーランド

◎ゾーン4(10カ国・地域)：バーレーン、バングラデシュ、インド、ヨルダン・ハシミテ王国、パキスタン、パレスチナ、カタール、サウジアラビア、スリランカ、シリア・アラブ共和国

## ●第1回アジアカップ選手権に日本代表2チーム参加！

APBF加盟26カ国・地域を対象に中国政府の積極的な支援を得て開催される初めてのアジアカップ選手権に日本から2010年度代表「オープン」、同「レディース」チームが参加します。

[主催] APBF（アジアパシフィックブリッジ連合）

[協力] 中国政府、他

[会期] 2010年8月30日～9月5日

[開催地] 中国、寧波

[競技部門] オープン／レディースの計2部門

[参加国・地域] ゾーン4、6、7の計26カ国・地域に呼びかけ、現時点で、オープン部門19チーム、レディース部門15チームがエントリー。

[参加者総数(現時点)] 選手、各国・地域のブリッジ協会役員を合わせ、約300名前後の見込み

[日本からの参加チーム]

◎オープンチーム…NPCなし

選手：井野正行、寺本直志、加来浩、古田一雄、横井大樹

◎レディースチーム…NPC：宮国健次

選手：小林弘子、塚本千寿子、近藤久子、勝部雅子、福吉由紀、宮国亜矢子

## ●《全国ブリッジ巡ってBINGO!》で、初の「8地区制覇」達成者が誕生しました！

「旅とブリッジ」の楽しさにBINGOのワクワク感で各地のリジョナルが賑わっているようです。

BINGO企画のスタートから1年4ヵ月、既に23名の方がBINGO賞(旅行券5000円)をゲットされていますが、7月の北海道リジョナルで早くも2回目のBINGOを達成し、しかも異なる8地区全部の競技会に参加した「8地区制覇賞」第1号が誕生しました。

「8地区制覇」の賞品は“総額10万円”を3年間の達成者全員で均等に分けた額の旅行券です。さて、2012年3月末にこのBINGO企画が終了するまでに、あと何名の「覇者」が誕生するか楽しみですね！

## ●東大ブリッジ授業9期目が終了

東京大学全学体験ゼミナール「考える力を育てる／コントラクトブリッジ」前期授業(9期目)が終了しました。

履修登録した14名の内、単位取得者は11名でした。また、履修生3名が東大ブリッジサークルに入部、部室を盛り上げています。世界大学ブリッジ選手権日本代表6名の内、3名が東大生。学内でブリッジ授業が行われていることが大きな後押しとなっているようです。

## ●早稲田大学ブリッジ授業3期目が終了

全15回の講義および実戦授業が7月22日に終了しました。

履修登録者は20名(登録のみが2名)、事実上18名の履修生のうち、単位取得者は13名でした。

講師のご報告によると、その中の5名はこのままゲームに参加しても問題ないレベル、2名は誤りをその都度修正していけばすぐに初級プレイヤーとして通用するレベルだとか。毎回の授業を積極的に手伝ってくれている早稲田ブリッジクラブの学生さんたちも仲間が増えていく楽しみを実感しているとのこと。

## ●「日経おとなのOFF」9月号(8/6発売)にイメージ広告第2弾掲載！

8月号に続くブリッジのイメージ広告第2弾が掲載されています。第1弾の「こんどは、妻を誘おう。」と対にしたキャッチコピーは「つぎは、夫を誘ってみよう。」。4行の紹介文は、

テニススクールの友人と一緒に始めたコントラクトブリッジ。

シンプルなゲームだけど、想像以上に奥が深いのよね。

今ではカードの駆け引きをしているときに、いちばんの楽しみ。

凝り性の夫に教えたら…間違いなく夢中になるんだろうな。

こんどは、妻を誘おう。

ゴルフ仲間に合わせてやってみたコントラクトブリッジ。  
最初は乗り気じゃなかったけど、いざ始めたら面白いのなの。  
駆け引きや記憶力が試されるぶん、いい脳トレになりそうだ。  
ペアで競うゲームだし、今度の休日は妻も誘ってみるか。

つぎは、夫を誘ってみよう。

テニススクールの友人と一緒に始めたコントラクトブリッジ。  
シンプルなゲームだけど、想像以上に奥が深いのよね。  
今ではカードの駆け引きをしているときに、いちばんの楽しみ。  
凝り性の夫に教えたら…間違いなく夢中になるんだろうな。

コントラクトブリッジとは、指定されたカードを相手に渡すことで相手の手札を推測するゲームです。脳トレや記憶力向上に効果的です。  
本誌の9月号以上のブリッジマガジンで読者のみなさまに無料で、詳しくはホームページをご覧ください。

世界が愛したマインドスポーツ  
コントラクトブリッジ

社団法人日本コントラクトブリッジ連盟  
TEL 03-3587-3741 www.jcbr.or.jp

●小冊子「LET' S PLAY BRIDGE」リニューアル！

初めての人でも、ミニブリッジの遊び方がわかる小冊子「LET' S PLAY BRIDGE」をリニューアルしました。内容は変更していませんが、よりわかりやすい表現方法に変え、初心者の方がこれ1冊で独学できるようになっています。ご希望の方はJCBL事務局まで必要数とともにご連絡ください。すぐお送りします。